

組織破壊を画策した脱退表明を認めない！

11月14日、JR東海労本部事務所に、藪秀一、田村浩彰、森下暢紀の3人が訪れ突然脱退届を提出しました。脱退の理由は、「JR東海労はJR総連と違う方向に行ってしまった。JR総連と共に進む。」と言っています。

私たちJR東海労は、結成から今日まで職場の労働者の権利と利益を守るために闘ってきました。出向先でも労働者らしく運動を展開し、関西サービック会社では、そこで働く労働者から東海労運動に共感を得てJS労を結成し現在も労働条件改善の闘いを続けています。

このような職場で働く労働者の権利と利益を守るための闘いを否定して、真実を捻じ曲げ組合員を騙し、私たちを「組織破壊者」にでっち上げ、「除名」しようとしているのが現在のJR総連指導部です。

今回、脱退届を出した3人は、JR東海労の運動を否定して脱退し、これから職場の労働者の権利と利益を守る闘いをどのように展開しようとしているのでしょうか。3人の口からは将来展望は語られていません。産別組織であるJR総連が、加盟単組であるJR東海労への組織破壊攻撃を行うという、前代未聞の事態の中で、ただただ「JR総連と共に」と繰り返し脱退する3人の行為は、職場の労働者の権利と利益を守るために闘っている東海労への組織破壊行為以外のなにものでもありません。

私たち名古屋地本は、3人の脱退表明に抗議し、このようなJR東海労組織を破壊する行為を認めません。

そして、今後もJS労の仲間のもとよりJRの職場、出向先の職場、関連会社で働く全ての仲間達と団結を固め、職場からの闘いを展開し東海の地から労働運動の炎を燃やし続けていくことを明らかにします。

2024年11月21日

JR東海労名古屋地方本部